

21 業務改善のための論理的思考法研修



目的	業務効率や質の向上を実現するために、業務内容やプロセスの見直し、標準化をすすめるための業務改善スキルの習得を目指す。問題発見や原因分析、解決策の発想に活用できる思考テクニックを理解し、自身の業務にも照らし合わせ具体的に検証し、業務改善に繋げる。		
内容	(1)自治体を取り巻く環境変化について学ぶ。(自治体でのAI/RPA活用例等) (2)業務改善に必要な問題解決のプロセスを知る。 (3)問題の原因を分析し、解決策を決定するプロセスを学ぶ。		
実施月日	令和7年12月16日(火)		
対象者 ・ 定員	県職員	中堅キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	24名
	員	係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	24名
研修講師	一般社団法人日本経営協会 講師 豊島 英明(とよしま ひであき)氏		
プロフィール	<p>1965年 神戸市生まれ、京都大学法学部卒業。 1988年 神戸市役所入庁。住宅局、市長室、神戸港埠頭公社、行財政局、北区役所まちづくり推進課長、職員研修所長、市長室国際課長、みなと総局企業誘致担当部長を経て、2018年早期退職。 2019年 合同会社創発研修ラボ豊島屋を設立。</p> <p>講師歴 大阪府、京都府、滋賀県、和歌山県、島根県、岡山県、徳島県、香川県、高知県、長崎県など多数 主な著書 「行政経営改革入門」(生産性出版) 「公共政策のための政策評価手法」(中央経済社) 「自治体バランス・スコアカード」(東洋経済新報社) 「自治体職員が見たイギリス」(関西学院大学出版会) など</p>		
昨年度 受講者の声	<p>▶ 日頃使っていなかった新しい思考法を学ぶことができた。日々の業務のなかで、問題の発見・分析をこの研修で得た知識をもとに実践したい。</p>		
	<p>▶ 漠然と論理的思考法と言われても理解できなかったが、講師の実例をふまえたわかりやすい説明と、グループワークで意見交換することにより理解を深めることができた。</p>		
	<p>▶ 仕事内容を可視化して共有すること、ヒヤリハットを共有して課題改善を図ることなど、今の職場で活用すれば、お互い誤解をしたまま仕事を進めることも少なくなり、効率化につながりそうと思った。</p>		
	<p>▶ 目的や状況に対してどの思考法が適しているかを考えるのが大切だということがわかった。</p>		
日程表			

8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:15
受付	オリエンテーション	<p>【1】自治体を取り巻く環境変化 ～最新テクノロジーの活用(AI/RPA等) ・政府の基本的立場、関連法令等 ・自治体での活用例 ・民間での活用例(行政への応用を考える) ・AI時代に求められる人材像</p>	昼食	<p>3 問題の原因を「分析」しよう 4 「発想力」を身につけよう 5 「解決策」を決定するには?</p>	アンケート・閉講
		<p>【2】業務改善に不可欠な論理的思考法 1 問題解決のプロセスを知ろう 2 問題は「発見」することから始まる</p>			

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。